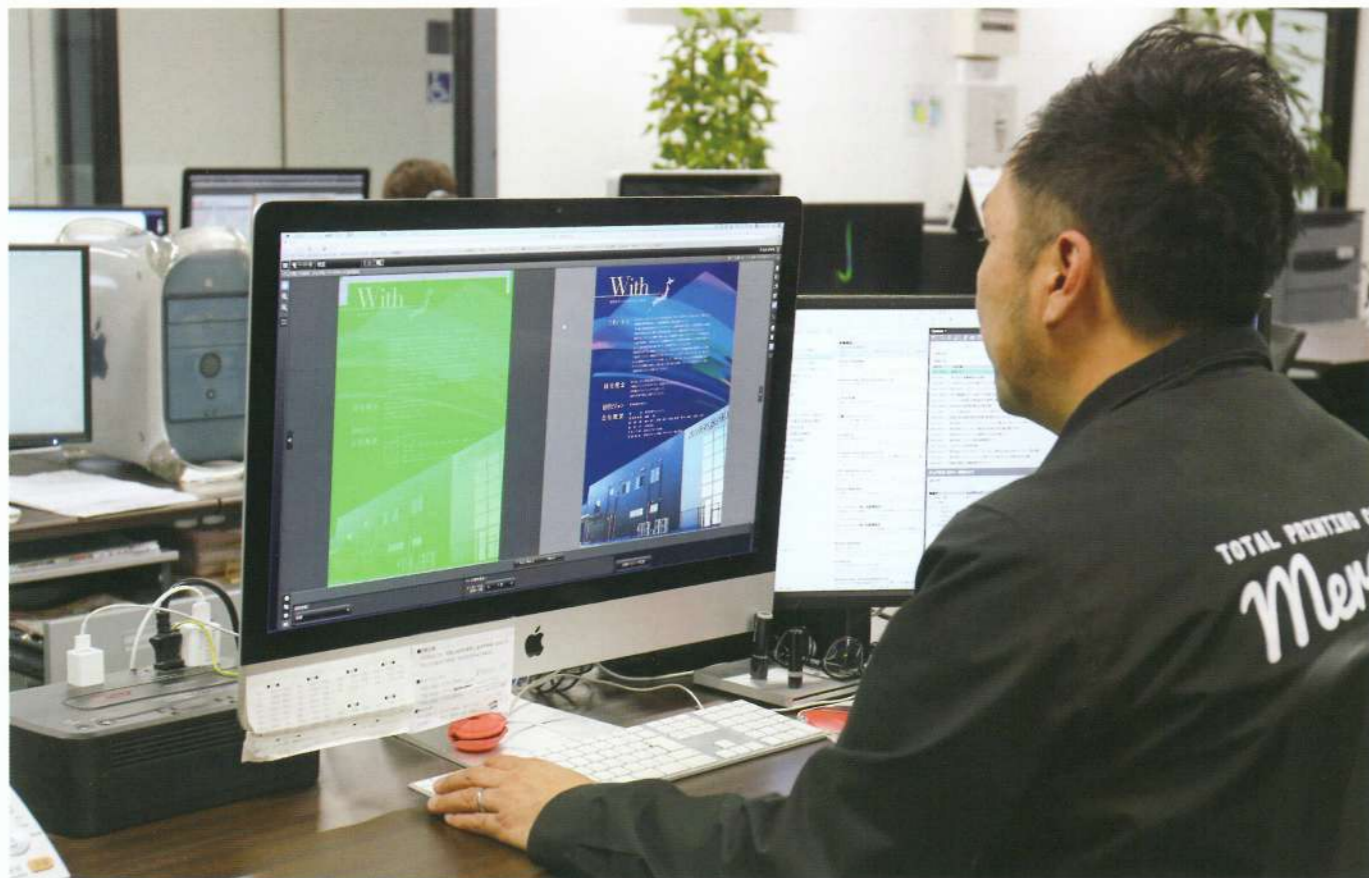


## 株式会社マーヂネット



## 会社紹介

ベストパートナー企業として感動を届けるサービス  
見える工場・見えない情報で24時間警備体制を徹底



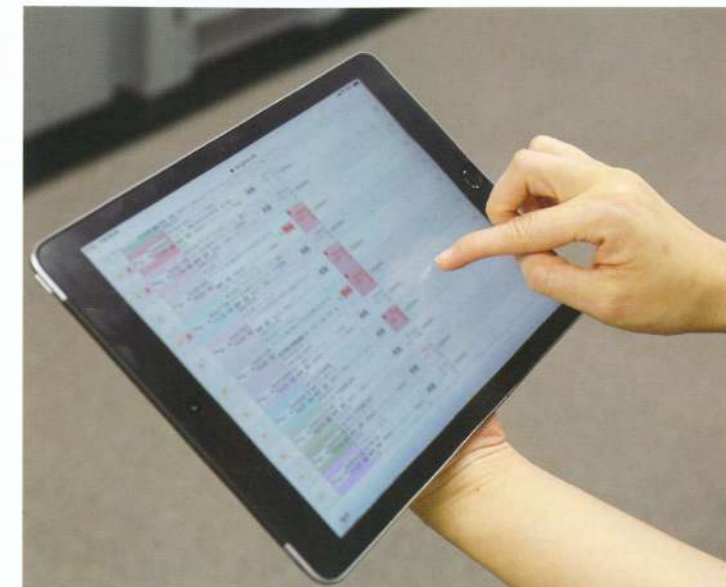
平成元年にデザイン会社として始まり、平成14年には印刷機や製本機を導入して総合印刷会社となる。以降、和歌山県内初のUVオフセット6色機を導入するなど、独自性を持った設備投資を積極的に行い、他社との差別化を図ることで規模を拡大。現在、デザインから印刷、製本、加工、在庫保管、出荷まで、ワンストップで対応できる体制を構築し、自社の長を最大限に生かしながら「お客様のベストパートナー企業」として、県内外へと仕事の幅を広げている。中でも評価されているのが、24時間警備体制の中で管理を徹底している高セキュリティな印刷工場。個人情報保護強化を図るべく、プライバシーマークも取得している。

代表取締役社長 池田 朗

## 補助事業

「省力化」と「見える化」で  
生産工程全体の効率化を目指す

取引先から支給されるデータの多くは、不完全なものであり、修正のやりとりなどに時間が取られ、納期の遅れや社内での製造体制の変更を余儀なくされてきた。また全国でも数少ない圧着ハガキに特化したWebサイトを運営し、他社とは違う営業戦略を展開するも、訪問ではないため効果的に他の印刷物の受注につなげることができなかった。さらにWebサイトを通じた取り引きのため、事前の受注予測が難しく、急遽の変更等もあり、ほかの業務に支障をきたす事態。入稿回数が増えるほど利益が減少し、それにかかる時間も膨大なため、生産性も著しく低下。それらの課題を打破するために、ハイブリッドワークフローシステムと印刷業総合業務管理システムの導入に踏み切った。



## 成果

双方向でリアルタイムに情報を共有  
効率化と生産性の向上が数字に表れる

同システムは、すべての情報を「見える化」し、双方向でリアルタイムに内容を共有する革新的なサービス。ワークフローシステムは、データ入稿時に自動確認機能が備わったサーバーを経由するため、データ不備に対してシステム側から取引先に通知。即時訂正が可能となり、入稿データのやりとりに要するタイムロスがなくなった。また業務管理システムでは、全工程の一括管理と社内共有ができるようになり、さらに取引先に向けては商品の進捗状況をWeb上で公開。両システムを連携することで、それぞれの取引先に向けた仮想工場化を提供でき、顧客満足度が向上した。また取引先ごとの専用ページに、自社の広告画像を盛り込むことで、商品PRも随時行っている。生産性においても情報の見える化で、機械やオペレーターのアイドルタイム(無作業時間)をなくすことができ、業務の効率化と生産性が向上。印刷機の1日の印刷案件数や営業担当者1人あたりの顧客数も増加し、数字として表れている。



## 今後の展開

本来のシステム能力が発揮される  
社員一人ひとりの意識改革が鍵

業務の効率化と生産性に、クリエイティブなものづくりが求められる印刷業界にあって、見える化＝監視と捉えられる側面もあった。その中でシステムを活用しながら、使う側の意識も改革。取引先だけでなく、社員一人ひとりに利便性や優位性を感じてもらうことでシステムを有効活用。営業から経理まですべてに、価格と時間管理の意識が根付き、余力をもって新規開拓に挑んでいる。

## 会社概要

|        |                       |
|--------|-----------------------|
| 会社名    | 株式会社マーヂネット            |
| 代表者    | 代表取締役社長 池田 朗          |
| 所在地    | 和歌山県西牟婁郡上富田町生馬811-1   |
| 資本金    | 1,600万円               |
| 従業員数   | 38名                   |
| 業種     | 各種デザイン・印刷・アセンブリ・配送業務  |
| 設立年月日  | 平成元年7月17日             |
| TEL    | 0739-83-3344          |
| FAX    | 0739-83-3322          |
| E-MAIL | ad@mergenet.co.jp     |
| URL    | http://mergenet.co.jp |